

マルキ通信 第39号

会長 川島徹也

皆さんお元気で過ごすごしでしょうか。ずいぶん暖かくなってきましたね。

TOKYO 2020 もいよいよ一年後に迫ってきました。今年シーズンは前半雪不足が続き、特に関西圏では滑走日が限られてしまいました。しかし、後半4月頃には北信越以北中心に大雪となり、長期のゴールデンウィークでも十分滑れる状況でした。本年度は例年の新年ツアーも新たな参加者が増え、好評に終わりました。また春ツアーも野沢温泉での計画をしていただき、本来の年2回のツアーが決行できました。企画、計画、実行いただきました担当者には大変感謝いたします。さて、5月より令和という新元号となりました。一部のアンケートにおいて「平和」、「礼儀を重んずる」、「協調性」、「譲り合いの精神」のイメージが強いとのことですが、我がクラブもそのような方向に向かっていきたいと感じております。また平成の時代に

やっておきたかったことで多かったのは「趣味」とのこと。元号が変われど趣味はまだまだこれから可能だと思えますので、来年度も皆で協力し、また新しい友人に声掛けし、楽しいツアーを実施いたしましょう。

2019シーズンを振り返って

古田千鶴さん



東麓新春ツアー 結果報告

スノーボード

3級 古田偉楓
4級 古田きづな

二日間のツアー、とても充実した内容であつたという間でした。途中、次男が拗ねた時は、ハラハラしましたが、気を取り直して練習も頑張り、バジジテストも合格したので、本人の自信にも繋がる結果になり、良かったで

奈良県スキー連盟
関西Kサークル
スキークラブ



← 古田偉楓さん / きづなさん

古田偉楓さん
スノーボード3級合格
シヨートターンができるようになるか、最初は自信が無かったけれど、検定の時に自分的には最高なパフォーマンスができて良かったです。

青井義憲さん
昨年引き続き、友人の戸城さんよりお誘い頂き、Kサークルのスキーツアーに参加させて頂きました。
今シーズン初滑りの中、前回学んだ内容を十分思い出せぬまま、スクールではブルークボーゲン、片足スキー、シユテムターンと基礎を徹底的に練習していくうちに、安定した滑りを実感する

古田きづなさん
スノーボード4級合格
ツアーに参加して始めの時は、知らない人達がいっぱいで緊張したけど、スノーボードを教えてくれた先生や、他の人達とも仲良くできて楽しかったです。二日目に受けたバジジテストも合格して、先生達が褒めてくれて、嬉しかったです。

→ 東麓新春ツアー



ことが出来、改めて基礎の重要性を実感しました。その他、ポジシヨン、視線の重要性も教えて頂き、明らかに滑りが変わつたとのコメントを頂くまでになりました。まだまだ基礎的な技術は身につけてませんが今シーズン残り少ない滑走日数の中、今回教えて頂きました内容を意識していきたいと思っております。また来年も都合がつけば参加したいです。



↑ 東麓ツアー・ボードチーム



↑ 東麓ツアー・スキーチーム



←野沢春ツアー

三田翔一さん

野沢温泉春ツアー

長野県に引越したことで、関西に本拠地を置くKサークルのツアーなどの行事に中々行けなくなりさみしく思っていた。しかし、スノーボードの指導者講習会の時に、秀司さんから、「久々に野沢で春ツアーやる？」というお声掛けをいただき、ひよんなことから数年ぶりに開催することになりました。思えば、自分がスノーボードを始めたころ、正月ツアーと春ツアーが両方、野沢温泉で開催されてね。」というお声をいただき、うまくなりたいたいという一心その言葉だけでも開催してよかったです。そんなことを思い出して、今シーズンも開催できたなら、是非度は教える側として、少しでも参加してくださいね。みんなで何か得られて満足して帰っても、緒の楽しくレベルアップしていきます。

いで開催してもらいました。ところが、カレンダーの関係上、どうしても平日を挟む日程になってしまったため、最初は人数がそろわず開催も危ぶまれました。しかし、ギリギリになって何とか人数が集まり開催することができました。

そんなこんなで開催された1日目。なんと強風でゴンドラが動かず1日のほとんどを日影ゲレンデで滑る。2日目、ゴンドラは動いたが、濃霧のため、山頂は目の前も見えず、あきらめて日影ゲレンデを滑る。そして3日目、何とか山頂で集合写真を撮り滑る

私のスノーライフ

2006年にSAJスノーボード1級に合格したとき、私は54歳。その時中国語も勉強中で、定年後にスノーボードのインストラクターをやりたい、それも中国語で教えられるインストラクターをやりたいという気持ちで、じわじわと沸き上がった。インストラクター資格を取る近道は？と考えると、JSBA(日本スノーボード協会)で1級を取り、C級インストラクター資格を取るのが早そう。ところがJSBA2級を取るのに2シーズン、それから2シーズンかかり、やっとC級インストラクター資格を取れた



→亜布カスキー場

のが2010年、58歳の時だった。さらに欲が出て、SAJスノーボード準指導員の資格が取れたのが2011年、定年退職の1年前だった。

定年退職後の最初のシーズン(2012-13シーズン)に苗場スキー場で常勤のスノーインストラクターをやらせてもらい、最後まで勤め終えたことが自信につながった。その後家内に付いて中国で2013年秋〜2017年夏、4年間生活をした時、中国吉林省または黒龍江省多樂美までは頑張ってみようという気があった。



←かぐらで知り合った 70歳ボーダー

また国のいい。シーズン中はレッスンは終了後、よくナイターで滑った。中この時先輩インストラクターが教えてくれたりもする。今はまっている必要があるけど、ひとまずは定がゴブを滑ること。苗場が営業年前の夢がかなったというところ。終了後は隣のかぐらスキー場でゴブの練習。まだまだ気持ちよさで、今シーズンは中国黒龍江く滑るところまで行かな省亜布カスキー場が始まった。3いけど、上達しているという感覚シーズン前からこのスクールの持っている。進歩の遅いおじさんスキーのインストラにスノーボーを教だけ、まだまだスノーボーを乗えている。今回は助っ人が加わらしてみたいと思っている。ちなみに、4人で亜布カへ行き、スノ今シーズンの滑走日数は126ボーを楽しんだ。スノーボーを通日、自己記録を更新した。

(石脇記)

【編集後記】今シーズン、関西以西のスキー場は雪不足で大変でした。一方、北信越以北は4月に降雪があり、十分楽しめたようですね。まだ5月だというのに編集をしている今日は各地で高温注意報、さて来シーズンはどうなるかな？ (石脇記)